



双松会会報

第33号「双松会」通巻37号「松高北高同窓会報」通巻37号

発行 松江市奥谷町164番地
島根県立松江北高等学校内 双松会事務局 TEL: 0852-21-4888
FAX: 0852-21-4977
印 刷 株式会社島根県農協印刷 TEL: 0852-21-3476

青春クリエイティブ Vol.10

普通科22期・理数科1期
(昭和46年卒)

大にぎわいの「親話」博

しんわ

「オー、モーレツ」「それを
「いつちやー、おしまいよ」が
流行った年に入学。「三無主義」「しらける」で二年生を
過ごし、「ピース、ピース」「ヘンション」が言われた年に卒業。
人類初の月面着陸、東大
安田講堂占拠学生排除、大阪
万博開催、三島由紀夫事件、
航空機事故相次ぐ、ドルショックなど騒がしかつた時代。学校
では、理数科が新設されて
一期生となるほか、補習科も
二クラスに増設された。こう
した中で青春を過ごしたのが
我々、四十六年卒組です。

古事記編纂十三百年にちなんで「神話博しまね」が開催され
た。同窓会としては七年ぶり。
受付時間が近づくと出席者が
どんどん集まってきた。「久しぶり。元気だったか
や」「老けたのう」と再会を喜ぶ人があれば、「おい、
あの人(アイツ)は誰だつた?」「分からん」「確か○○さん
(さん)では」と身

で「久しぶり。元気だったか
や」「老けたのう」と再会を喜ぶ人があつた。先生には迷惑
がかかるが、それがあつた。先生には迷惑がかかるが、それがあつた。
山中先生のテーブルでは、
「私たちのころ、先生は四十歳
前後です。自分の四十歳
ごろを思うと先生は随分と大
きな年になりました。先生には
お世話をになりました。先生には
悪いことばかりしたよう
に思います」と入れ替わり
立替えられました。「いろいろ
お世話をしました。先生には
悪いことばかりしたよう
に思います」と入れ替わり
立替えられました。

心の知れた者同士のグループ
が通り越した感も。グループ
だけに、腕に自信を持つた人
たちが楽器を取り出し、北高
モーリアルバンドが結成さ
れ、今度は懐かしのメロディーのオンパレード。飛び入りで演奏をバッタリ。「亞麻色の髪の少女」やポップスな歌を熱唱する人も。

開会に先立ち、亡くなられた恩師、同窓生に黙とう。恩師で唯一出席をいただけいた山中淑郎先生が「君たちは干支が五周した。私は間もなく七周する。元気でこれからも活躍を」と乾杯。いよいよ同窓会の幕を開けた。各テーブルでは、すぐに話題の大輪の花が咲いた。「何年会つてないかな」「40年ぶりだね」。中には「お前はよく授業をさぼっていたよな。代返はバレンタインにするのが大変だった。でも、先生は分かつていただろうな」。

別の席では「先生に叱られさせられたわ。砂が足に食い込んでも痛かったことを覚えてる」「朝、学校に行かない」と先生から家に電話があつたり、自転車で迎えに来られたこともあつた。先生には迷惑をかけたが、大変お世話になつた「など当時の悪行」が飛び出したり、反省の言葉も。山中先生のテーブルでは、
「私たちのころ、先生は四十歳前後です。自分の四十歳ごろを思うと先生は随分と大きな年になりました。先生にはお世話をしました。先生には悪いことばかりしたよう

に思います」と入れ替わり立替えられました。「いろいろお世話をしました。先生には悪いことばかりしたよう



西尾 俊也



と返され恐縮する人も。
しばらくすると、会場スクリーンにルームごとの卒業写真に続き、学園祭での仮装行列や体育大会の応援席デコレーション、遠足などの傑作写真が映し出された。映像のバックに流れる音楽はもちろん、「ハイジュード」などのビートルズナンバーと、フォーキング。「あの時のことを思い出す」「よくこんな写真を持っていたもんだ」と、懐かしむ声が響いた。

個人的にはスマップ写真を持っている人は多いのだろうが、こうして大勢が青春の一枚を共有すると独特の雰囲気が漂う。約三時間、高校時代の懐かしい話。その後のそぞれ人生を語り合つた一次会は幕を閉じ、場所を移して

「昔の仲間に会えて最高でした」「楽しいひと時、感激です」「お祓いを受け、百歳まで元気に生きていけそう」という披露する者。

「昔の仲間に会えて最高でした」「楽しいひと時、感激です」「お祓いを受け、百歳まで元気に生きていけそうだ」。青春プレイバックの会場を包むように松江の夜は更けていった。還暦同窓会はひと味違つた。初めて参加する人が目立つたことだつた。以前は現役バリバリで仕事の都合がつかなかつたり、海外で暮らしていたりで、出席したい気持ちはあつても叶わなかつたらしい。ひとつ目の節目を実感せずに、おられなかつた。また、東京に居る者同士で年に数回は集まつてることや、ブログやホームページで近況などをアップして同窓生同士の絆を大切にしている人同士の絆を大切にしている人がいる。北高生といふていて優秀だった「など」と自覚をもつていて、北高生といふていて優秀だった



ごあいさつ

会長 庄司肇

が益々盛んになることは御同のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年11月19日にはホテル一畠において創立百三十周年記念総会を開催しました。会員の方々には、中学53期(昭和8年卒業)の大先輩を始め、多数(二〇〇余名)の参加をいただき盛大に行なうことができました。そして総会開始前のアトラクションにおいて松江北高生の合唱部、筝曲部、弦楽同好会が出演し、若々しい演奏をしてくれて、現役生との交流を楽しみました。総会に合わせて北高の校内にある起雲館(同窓会館)を開放しましたところ、多数の会員の方達に来館いただきました。二年間にわたって整備しました資料を見ていただけます。

最近、各地区での同窓会(東京、近畿、広島、米子)や各期毎の同窓会(特に人生での節目に当たる年齢の時等)が盛んに行われ多数の参加があると聞いております。同窓会



ご挨拶

校長 河原一朗

双松会の皆様方には、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素から母校に対しまして様々なご支援・ご協力を頂き、誠に有り難うございます。

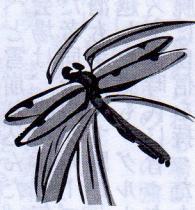
さて、この度の異動で勝部昌幸前校長の後を受け、本校に赴任して参りました。23期卒業で高校時代には、バスケット部で汗を流していました。

今年の本校の生徒諸君も質実剛健の校訓のもと、文武両道をめざし大変よく頑張っています。特に、この3月には女子弓道部が全国選抜大会で優勝するという団体では昭和58年の合唱部以来の快挙を成しました。県高校総体では男子が総合優勝しましたが、女子は7位で男女総合4位という結果でした。来年度

とにいたしました。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。なお、予てより、海外に住んで活躍しておられる方達へもこの会報を届けてほしいという要望がありましたので、

お届けすることいたしました。会の活動や母校の活躍の様子について知つていただけます。

こそは男女総合優勝奪還を目指したいと思つています。私も各会場に応援にいきましたが、本校の生徒諸君、特に3年生は、悔し涙やうれし涙と色々ありました。最後まであきらめず大変よく頑張つており、感動しました。また、総体報告会では、各部のキャプテンが、保護者、監督や周囲の人への感謝の気持ちを述べていました。こういった心を持ることは、試合結果以上に大切であり、あらためて本校の生徒の素晴らしいことを感じました。インターハイにも多くの部が出場し活躍しました。文化部でも、囲碁・将棋、全国総文祭に出場するなど成績を上げています。今後とも引き続き応援をお願いいたし



23年度末の進路状況も本県全体が苦戦する中で、例年通りの結果を残しており、今後とも文武両道の学校であり続けたいと思っています。

本年度末には、昭和30年に松江工業から移管された通信制課程が、平成22年度宍道高等学校設置に伴い閉じることになりました。五千人を超える卒業生を送りだした通信制課程ですが、今後は宍道高校に引き継がれることになります。平成25年3月17日(日)に本校において最後の卒業式及び閉課式の式を行う予定です。多数の方々のご参列をお待ちしております。

終わりになりましたが、双松会の益々の発展と会員の皆さまのご健勝とご活躍を祈念いたしまして会報発刊のご挨拶いたします。

事務局だより

一、会報助成金についての報告

左記の方々より寄付金を頂戴いたしました。厚くお礼申し上げます。

21期より七万円

22期および理数科1期より
十万円
62期より二千六六円

三、松江北高等学校資料室に ついて

北高敷地内の同窓会館(起



○会報助成金についてご報告

(平成24年3月31日)

【収入】

費目	金額	備考
繰越金	3,557,870	
利息	473	
合計	3,558,343	

【支出】

費目	金額	備考
本会計へ繰り入れ	1,500,000	23年度発行会報 印刷補助金として
合計	1,500,000	

います。さらに充実した資料室にするために、資料の提供をして下さる方は、ご一報下さい。また、平日の資料室見学をご希望される方は、ご連絡下さい。(なお、写真は、資料室内の写真です。)

四、各地区的双松会の動向について

○東京双松会の総会

平成24年9月30日(日)
於 アルカディア市ヶ谷

○近畿双松会の総会

平成24年11月10日(土)
於 中央電気俱楽部

○広島双松会の総会

平成24年11月10日(土)
於 広島ダイヤモンドH

○米子双松会の総会

平成25年2月中
(詳細は後日)

五、通信制課程の閉課程式について

松江北高通信制課程を閉じ、完全に県立宍道高校へ移管されます。閉課程式は左記の通り行われる予定です。
平成25年3月17日(日)
於 松江北高校第一体育館

「フォト」ラム

「川津校舎の記憶」



1978年度の卒業アルバムより。現在の松江とは大きく様変わりしています。
当時建ったばかりの松江市総合体育館を手がかりに、現在の松江と比べてみましょう。



総会会場
ホテル一畠



庄司会長あいさつ



功労者表彰 松本幹彦・前会長

特集
祝 島根県立松江北高校
創立135周年記念双松会総会

昨年の11月19日に北高創立135周年記念式典と懇親会が開催されました。今回の特集では、この式典を写真で振り返ります。



来賓祝辞
松浦正敬・松江市長



感謝状贈呈 足立 洋様(足立農園)



アトラクション①
筝曲部



記念講演
吉野勝美氏



アトラクション②
弦楽同好会





懇親会司会

渡部 忍、中脇寛之(45期)

乾杯



万歳三唱



祝宴は続く

双松会135周年記念総会会計決算書
(双松会記念総会基金)

[収支決算]

収入総額	4,966,052
支出総額	2,564,221
差引残高	2,401,831

…定期預金へ(140周年記念総会準備金)

[収入の部]

費目	予算額	決算額	残額(△)	備考
準備金	910,540	910,573	33	130周年会計より繰越(利息分増)
総入金	700,000	2,855,733	2,135,733	100周年記念基金より(解約)
会費	2,000,000	1,100,470	△ 899,530	式典・懇親会会費205名分
新聞広告費	0	0	0	
雑収入	0	119,276	119,276	寄付・祝金、預金利息
合計	3,810,540	4,966,052	1,355,512	

[支出の部]

費目	予算額	決算額	残額(△)	備考
新聞広告料	0	0	0	
会場費	200,000	170,000	30,000	式典・懇親会会場費、控え室料
設営費	100,000	103,000	△ 3,000	飾花料、看板・演題代
懇親会費	2,000,000	1,406,742	593,258	料理・飲料・席料・サービス料・消費税・楽譜代・ピアノ等
講演費	300,000	88,717	211,283	講師謝礼、司会謝礼、タクシーダイ(講師・来賓)
表彰費	200,000	138,397	61,603	記念品料(功労者表彰・感謝状)、賞状・額縫・筆耕代
印刷費	250,000	390,915	△ 140,915	内訳: 払込票・封筒・領収証・金封・ラベル・写真代
通信事務費	100,000	33,270	66,730	ハガキ・切手代(案内状・資料代)
会議費	100,000	20,000	79,997	実行委員会料金、コピーバイ
雑費	25,000	21,341	3,659	名札・名刺カード・封筒・領収証・金封・ラベル・写真代
予備費	35,540	191,836	△ 156,296	資料料、茶室開放事業(写真集・看板代)、式典飲料代
合計	3,310,540	2,564,221	746,319	

記念総会次第(於サンシャインホール)

物故者慰靈黙祷

開会のことば

校歌 齊唱

「赤山健児の歌」「松江北高等学校校歌」(合唱部が賛助演奏)

会長挨拶

学校近況報告

来賓祝辞

来賓紹介

労働者表彰

閉会のことば

14:00~

記念講演

演題 「科学技術を生かした地域振興に寄与すべく汗する古希になった編団、一刻者の思いとつぶやき」

講師 吉野勝美氏(11期)

島根県産業技術センター所長、大阪大学名誉教授、元日本液晶学会会長

14:35~

アトラクション

筝曲部および弦楽同好会による演奏

筝曲部

*星のように

弦楽同好会

*リュートのための古風な舞曲とアリア

第3組曲より

I イタリアーナ III シチリアーナ

松本 雅夫

O.レスピーギ

15:45~

懇親会次第(於平安の間)

開会のことば

会長挨拶

スビ

乾杯

☆祝宴

万歳三唱

閉会のことば

16:30~

各期だより

23期(昭和47年卒業)の皆様へ

玄行 登

還暦記念同窓会を平成25年9月22日(日)に松江市で開催します。詳細は来年の春に文書でお知らせする予定です。

34期(昭和58年卒業)の皆様へ

ます。クラス幹事に連絡がとれにくい場合は、7R内藤が松江北高に勤務していますので、はがきかFAX等でお問い合わせには出られないことが多いです)。今後の連絡方法等をお知らせします。

①日時 平成25年1月2日(水)
17時頃から

②会場 未定(松江市内)

③申込方法(連絡先)
クラス毎に状況が異なりますので、各クラス幹事にご確認下さい。

1R 岸井(小玉) かおり、
2R 野津栄、3R 高見浩
史、4R 錦織(中島) 正恵、
泉竜彦、5R 安達利幸、6R
R 中釜(来待) 智子、7R
内藤永嗣、8R 経種順治、
9R 浜崎(由木) 順子、10R
田口修

問い合わせ先…

松江市奥谷町164

FAX 08052-121-4977

松江北高内 内藤永嗣宛て
スプックペーパー「松江北高第34期同窓会実行委員会」を作成しています。ぜひ友達登録してください。

<http://www.facebook.com/matsuekita34th>

ご案内を差し上げています。実行委員会で把握できました。ご住所に、7月の段階で往復はがきで予備調査を兼ねます。幹事までご連絡いただけない方は、同窓会への出席の有無に関わらず、下記のクラス案内をさせていただきます。

双松会地区だより

東京双松会

東京双松会 事務局長
泉 宏佳 寝14期(昭38年卒)

地区だより

これまでの三年間で、在京地区の二、九〇〇名の全会員に、一度は東京双松会総会案内を送ってきた。また、活動状況を知つていただきため、「東京双松会」会報の発行も行つてきたが、その結果「総会」出席者は一〇〇名から一〇〇名をコンスタントに確保しているが、まだまだ少数であり、更に多くの方の参加を

求めた。総会では、高校時代の部活動の思い出や現在の活動状況を報告してもらつてきましたが、昨年は野球部の報告を受けた。選抜高校野球大会に五十五年ぶりの出場を果たした楠井及び室本両投手をゲストに迎え、そして野球部OBの方からも多数の参加を得、更に母校からは試合ビデオを送つてもらい会場で放映した。また、飛び込みであつたが、母校の機関紙「双松」に紹介された藤川画伯の児童画の展示も行つた。総会には、

次に、双方向の情報交換の手段として、会報のほか、「東京双松会」でホームページが開設されている。各期の活動報告や写真、芸術作品などの投稿をお待ちしております。

昨年の総会は出身小・中学校や在籍クラブの情報を提供して開催したところ、世代間を超えた交流が活発におこなわれ、ひと味違つた同窓会風景となりました。

引き続き、母校と郷土の発展を願つてなごやかに活動を続けたいと考えていますので、下記の総会、諸行事への皆様のご参加をお待ちしています。

平成二十四年度総会案内

・期日…9月30日(日)

・会場…正午から午後3時半ごろ

JR、地下鉄「市ヶ谷」駅
(私学会館)

から徒歩二分

電話…03-3261-9921

・部活報告…演劇部(児童劇)

大阪市北区堂島浜二丁目
団「大きな夢」代表 青砥

じ会場で、9月30日(日)にご案内のとおり予定しており、多数の参加を期待したい。

今後の課題だが、年間事業のうち、総会は総会会費で収支を合わせているが、会報發行やその他の事務経費については赤字運営となつていて。これまでの資金ストックに若干の余裕があり、当面は会員拡大と活動認知のためには止むを得ない対応と考えている。

これまでの資金ストックに若干の余裕があり、当面は会員拡大と活動認知のためには止むを得ない対応と考えている。

・問合先…東京双松会事務局
新宿区西新宿7-16-6
「株かもす内」
電話…03-33361-4094

近畿双松会

近畿双松会 事務局長
松本 耕司(高16期)

地区だより

来年度には設立(戦後の再開)五十五周年を迎えるため、本年一年このことを念頭において運営してまいります。

昨年の総会は出身小・中学校や在籍クラブの情報を提供して開催したところ、世代間を超えた交流が活発におこなわれ、ひと味違つた同窓会風景となりました。

引き続き、母校と郷土の発展を願つてなごやかに活動を続けたいと考えていますので、下記の総会、諸行事への皆様のご参加をお待ちしています。

一、本年度の総会懇親会

・期日…11月10日(土)

正午…午後3時半

・会場…「中央電気俱楽部」

・講演は古事記千三百年にち
みな松江から八雲立つ風土記

の丘所長の本間恵美子さん
(高19期)をお迎えします。(九
月に詳細ご案内)

二、その他の主な行事

五月に懇親ゴルフ、七月に
文楽鑑賞会を終え、九月三十
日には神戸で清盛の足跡を訪
ねる「歴史ウォーキング」、
十月二十一日には大和柳生で
「里山歩くぞ!ハイキング」、
来年三月には落語鑑賞会と年
度会報の発行を予定。

室)を訪ね、創立136年の
松江北高校の歴史に触れ懐し
い青春時代を思い出したいと
考へている。そして、遊覧船
を貸切り宍道湖・大橋川・中
海を遊覧しながらの昼食懇親
会をし、米子港に上陸する計
画である。また、ゴルフ部会
は、大山山麓の三つのゴルフ
場をローテーションで毎月コ
ンペを開催している。旅行部
会は秋にバス旅行を予定して
いる。

会員は米子市周辺でかなり
の数在住・勤務されているが、
各種行事活動等への参加は一
部に限られているのが現状で
ある。会員の拡大と若手会員
に魅力ある会運営・諸活動が
課題となっている。米子市お
よび周辺部に在住または勤務
の方で「米子双松会」にご入
会いただける方は、左記まで
ご連絡ください。

連絡先 米子双松会事務局

〒689-3402
米子市淀江町淀江771

TEL&FAX
0859-56-12315
中西 秀夫

米子双松会が誕生して40
年。斎藤勝会長のもと、同窓
間の親睦交流と母校の発展を
願い活動を続けています。
今年の活動は、2月19日、
総会を開催。7月22日、40周
年記念納涼会として、貸切バ
スで母校赤山の松江北高起雲
館(リニューアルされた資料

米子双松会 地区だより

米子双松会 事務局長
中西 秀夫 (昭和39年卒・15期)

今年の活動は、2月19日、
総会を開催。7月22日、40周
年記念納涼会として、貸切バ
スで母校赤山の松江北高起雲
館(リニューアルされた資料

広島双松会 支部だより

広島双松会 幹事長
石原 通弘 (昭和37年卒・13期)

平成二三年十一月に第六回
総会を庄司肇会長 勝部昌幸
校長、伊藤浩先生にご臨席賜
り開催し、後述の活動計画等
を決定しました。また、姉妹
校であります松江南高の卒業
生にご出席いただき、総会に
華を添えていただきました。

本年度は会の更なる活性化
を図るため、役員会で対策を
検討していきます。

設立以来同級生や職域を通
じて口コミで情報を探し伝達する
こととしていますが、十分な
周知が出来ていません。会報
をご覧いただいた方、事務局
へご連絡いただければ喜びま
す。

四、連絡先

幹事長 石原 通弘
739-11742

広島市安佐北区亀崎一丁目
29番26号

TEL&FAX
082-842-1416

携帯電話
090-9507-2312

E-Mail
ishihara2926@memail.ne.jp

三、その他の行事予定

① 納涼親睦会
日時 平成24年8月1日(水)

場所 広島そごう本館
「カーサグランデ」
(広島市中区)

② 親睦ゴルフコンペ
日時 平成24年9月29日(土)
場所 宮島志和カンツリー
俱楽部(東広島市志和町)

一、今年の活動計画
今年の活動は例年の総会・
懇親会に、納涼親睦会一回、
ゴルフコンペ二回程度開催し
て会員の親睦を深めます。

二、第七回総会・懇親会

日時 平成24年11月10日(土)

16時~19時

場所 広島ダイヤモンドホテル

2-4-6



第三十一回 通信制同窓会役員会報告

去る、7月7日㈯に松江市の東急インにおいて第32回の役員会を開催しました。母校の松江北高通信制が今年度で閉課程になり、同窓会として今後の運営の在り方を協議しました。

大きく変わるところは、名称を「通信制双松会」と改称する。

二、役員体制は現在75名体制から15名にする。

三、役員会を総会にかえることとなっていたのを、原則として年一回全員対象の総会懇親会を開くに改める。

「さよなら松江北高通信」

いよいよ、来年3月17日を以って北高通信制が閉課程になります。最後の卒業式は松江北高で行われます。「昨年『さよなら赤山校舎』をして校舎に惜

別しましたが、この度はいよいよ最後のお別れです。

同窓会では別紙の案内の要領

北高生の活躍

島根県高等学校総合体育大会 男子総合 第1位

5月下旬から6月上旬にかけて島根県内にて県総体が行われました。総合優勝奪還を目指し、各部熱戦を繰り広げましたが、残念ながら男女総合第4位となりました。また、男子総合は3年連続13度目の優勝を成し遂げました。

8月に北信越で開催された全国高校総体(インターハイ)に出席したチーム・選手を紹介します。

○陸上競技部
男子 100m 第5位
3年 金森 和貴
200m 第6位
3年 金森 和貴
男子 110m H 第2位
3年 矢田 弦
男子 三段跳 遼
3年 永田 遼
男子 4×100m R
○弓道部 女子団体 第4位
○ボート部 男子団体 第4位
○テニス部 女子シングルスカル
3年 永原 賢造
○テニス部 男子シングルス
3年 筑後 侑子

文化部の活躍

八月に富山県で行われた全国高等学校総合文化祭に出場した

部を紹介します。

○百人一首かるた部
読手の部 最優秀賞

競技の部 2年 岡田 優
2年 星野 詩織
2年 加瀬部 美穂
2年 原田 季美香

○囲碁部 3年 吉持 有作
2年 稲田 悠太
2年 藤原 里菜

○将棋部 2年 三島 志織

○放送部 3年 加藤 虹帆
朗読部門 2年 三島 志織
○全国英語スピーチコンテスト
(24年2月開催)

○放送部 3年 大谷 慧
朗讀部門 2年 三島 志織
○全国英語スピーチコンテスト
(24年2月開催)

その他全国大会

○放送部 NHK杯全国高等学校放送コンテスト
朗読部門 3年 加藤 虹帆
○全国英語スピーチコンテスト
(24年2月開催)

○放送部 3年 大谷 慧
朗讀部門 2年 三島 志織
○全国英語スピーチコンテスト
(24年2月開催)

弓道部 全国優勝

弓道部が3月岐阜県にて開催された第30回全国高等学校弓道選抜大会に初出場し、初優勝という快挙を成し遂げました。团体での本校の全国優勝は、昭和58年合唱部のNHK全国学校音楽コンクール最優秀校受賞以来30年ぶりのこととなります。

優勝の軌跡

予選結果

58チーム中12射の

事務局長

足中安武岩田馬貴林長伊玄小松吉山長杉栗庄金

河菅勝古山本司松原野瀬金津中

副幹事長
顧問
副会長
会長
幹事長
幹事
監事
常任幹事

立脇松藤本邊庭谷原崎達行草田金口廻原原山司

勝彦修博

芳寛崇立雅真伸紘幹悦倫優龍楨和伸康直尚

一恵昌任隆朗子幸誠紀志肇

樹之徳樹之司行行治子代登子志隆子助治郎觀史憲

江28454342383634312929232322211916143013312316期

松江23222116166111期

高教頭

新新新新新新新新

新新新新新新新新

新

平成24年度 双松会会計予算書

[収入]			
費目	本年度予算	昨年度予算	増減(△)
入会金	2,383,600	2,472,400	△ 300,000
総額	1,105,617	1,768,549	△ 50,000
総額	1,500,000	1,500,000	0
寄付金	0	0	0
雑収入	783	9,051	△ 8,268
合計	4,990,000	5,750,000	△ 760,000

[支出]			
費目	本年度予算	昨年度予算	増減(△)
会報発行費	3,300,000	3,600,000	△ 300,000
記念品費	500,000	550,000	△ 50,000
旅費	500,000	500,000	0
会議費	200,000	200,000	0
人件費	150,000	150,000	0
整備費	100,000	300,000	△ 200,000
通信事務費	50,000	50,000	0
雑費	50,000	50,000	0
予備費	140,000	350,000	△ 210,000
合計	4,990,000	5,750,000	△ 760,000

平成24年度 双松会会計決算書

収入額 5,790,051
支出額 4,684,434
差引残高 1,105,617

[収入]			
費目	予算額	決算額	増減(△)
入会金	2,472,400	2,449,200	△ 23,300
総額	1,768,549	1,768,549	0
総額	1,500,000	1,500,000	0
寄付金	0	72,066	72,066
雑収入	9,051	236	△ 8,815
合計	5,790,000	5,790,051	40,051

平成23年度 双松会会計決算書

収入額 5,790,051
支出額 4,684,434
差引残高 1,105,617

[支出]			
費目	予算額	決算額	残額(△)
会報発行費	3,600,000	3,100,682	499,318
記念品費	550,000	390,560	159,440
旅費	500,000	472,620	27,380
会議費	200,000	190,822	9,178
人件費	150,000	130,000	20,000
整備費	300,000	377,640	△ 77,640
通信事務費	50,000	22,110	27,890
雑費	50,000	0	50,000
予備費	350,000	0	350,000
合計	5,790,000	4,684,434	1,143,206

右から
2年監督
3年3年3年勝部
3年年年年
前田未森古川戸田香菜子瑞紀
森山宇佐美朝士迪子陽香典子
教諭



僕は、7月10日～15日にスペインのバルセロナである世界ジュニア陸上競技選手権大会（スペイン・バルセロナ開催）に日本代表としての誇りを胸に、世界各国の選手たちと競い合い、堂々とした走りができるよう全力を尽くします。応援の方よろしくお願いします。

金森和貴君のコメント



陸上競技部 3年金森和貴君が、世界ジュニア陸上競技選手権大会（スペイン・バルセロナ開催）に日本代表選手として選ばれ、100mと4×100mRではアンカーをつとめ、アメリカ、ジャマイカに次ぐ第3位を獲得しました。100mでは準決勝に進出し、4×100mRではアンカーをつとめ、アメリカ、ジャマイカに次ぐ第3位となり銅メダルを獲得しました。7月3日の壮行式で語った「非常にメダルをもちかえりたい」との力強いコメントを実現しました。インターハイでも活躍しましたが、高校最後の大会である国体での活躍も期待されます。

百人一首かるた部2年岡田優さんが、8月に開催された全国高等学校総合文化祭「とやま縦文」に全国から3名の読手として参加し、日本一にあたる最優秀読手に選ばれました。

かるた読手日本一に！
2年岡田優さん

合計で上位16チームに入り突破トーナメント

1回戦○松江北対東洋大姫路

準決勝○松江北対延岡学園

決勝○松江北対石巻西

3月27日の午後、凱旋報告会を開催しました。春休み中であるにもかかわらず、正門前には多くの人が集まり、優勝報告がありました。選手の皆さん、周囲の人たちへの感謝の言葉を述べ、祝福の雰囲気に包まれました。

3月27日の午後、凱旋報告会を開催しました。春休み中であるにもかかわらず、正門前には多くの人が集まり、優勝報告がありました。選手の皆さん、周囲の人たちへの感謝の言葉を述べ、祝福の雰囲気に包まれました。

3年 金森和貴君 日本代表に！

今年度入試における国公立大の志願者総数は、前年度に比べ約九千人減で、志願倍率は前年の五・〇一倍から四・九一倍となりました。志願者減の主な原因と考えられるのは、難関大の後期日程廃止により、後期の出願が減少したことや、ここ2年増加傾向だった公立大の志願者が、その反動のためかかなり減少したためではないかと分析できます。

実質的な前期の国公立大の倍率は昨年とほぼ同じ三・四倍です。学部や系統別の傾向としては「理高文低」の傾向がより鮮明となり、教員養成や医療系の資格系統の人気が続いている。

「大学全入時代」と言われていますが、実際には「入れる大学」ではなく「入りたい大学」に志望は集中しています。実質的な「大学淘汰の時代」を迎えて、大学間の格差は拡大し、二極化が進んでいます。さらに、昨今の経済状況を反映して、学費が安価な国公立大への志向はまだ根強いものがあります。

今春の本校生徒の受験結果は、国公立大の合格者数延べ二十三名でした。これは昨年よりも二十名程度少ない結果です。今年度の入試は、センター試験の全国平均点の上昇により、出願の段階からかなり厳しいもの

本年度の進路状況

になりそうだと予想されています。前述したとおり、後期日程廃止による国立大後期の合格者数が減ったことと、公立大の合格者が昨年度四十一名に対し今年度は二十八名であった点が全体の数字減の原因になっています。しかし、国立大の前期日程に限れば、合格者は昨年とほぼ同数でした。いわゆる難関国立大学の合格者数は東京大学四十四名。また、国公立大の医学部医学科の合格者数は十三名という結果で、どちらもほぼ例年並みの結果でした。

今年度の入試は、センター試験の全国平均点の上昇により、出願の段階からかなり厳しいものになることが予想されていました。そうした状況の中で、本校生徒の受験結果は、数字の上ではまずまず健闘したと言えると思います。

社会が求める資質は、端的に言えば、「世の中の変化にどれだけ柔軟に対応できるか」ということであり、またその変化に応じる力を身につけるために「常に学び続けることができる」ということです。こうした力は、社会に出てから急に身につくものではありませんが、高校生活にはあらゆる機会にそうした力

基本を一、二年間にじっくり身につけ、三年生になつてから模試や演習を繰り返すことでも実戦的な応用力を身につけています。

受験は確かに大きなハードルではあります。大切なことは、生涯を通して学び続ける人であります。そのためには、自分自身に全力を尽くせることであります。大切なことは、生涯を通して学び続ける人であります。そのためには、自分自身に全力を尽くせることであります。

「受験勉強」という特別な学習が存在するわけではありません。毎日を大切にしながら、忙しくとも充実した時間を過ごすことこそが彼らにとっての財産になるのです。

昨今の高校生、あるいは大学生の資格志向には、将来社会に出た時に、それまでに培ったスキルや知識を生かして活躍したい、という思いが反映されています。

平成24年度入試学校別合格者延べ数及び就職者数(平成24年4月集計)

卒業生	平成22年3月			平成23年3月			平成24年3月		
	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
国公立大学	177	36	213	151	40	191	145	40	185
私立大学	41	4	45	35	6	41	22	6	28
私立大学	199	70	269	163	62	225	233	57	290
短期大学	34	0	34	58	0	58	36	1	37
専門学校等	20	1	21	12	0	12	19	0	19
就職	2	0	2	0	0	0	1	0	1
合計	473	111	584	419	108	527	456	104	560
クラス数	8クラス			8クラス			8クラス		

編集記

昨年百三五周年式典を終えて、そうした力を是非身につけています。

北高の学習や日々の生活を通じて、そうした力を身につけています。この北高でそうした生徒が一人でも多く育ってくれること。そして彼らが社会で大きく羽ばたいてくれることを願ってやみません。

今年の北高では、春から生徒の活躍の報せが続々と入ってきました。春休みの弓道部の全国選抜初出場・初優勝。勝部前校長の退職を祝うかのような夕ミーティングでの吉報に、学校中が湧きました。続いて7月の金森和貴君の世界ジュニア陸上出場、そして銅メダル受賞。インターネットでレースを見ましたが、JAPANのユニフォームを着て、4×100メートルのアンカーとして、あのロンドンオリンピックを沸かせたアメリカ、ジャマイカに次いで3位でゴールする金森君の姿に大いに鼓舞されました。伝達式で銅メダルを金森君にかけてあげる河原校長も興奮気味でした。

そして本号締切直前に舞い込んだ岡田優さんのかるた読手日本一の報せ。さらに弓道部の、春の優勝に次ぐ4位入賞。いずれも、技能だけでなく精神面での充実も求められる場面で力を發揮した北高生の心の強さを実感しました。このほかにも、目立った成果はなくとも、着実に努力している生徒が大勢います。質実剛健の北高精神は、今も健在です。